



今し未幾正考其一二
下しちして出する

新公よし如去来今

一多ん多上ノノ

子^子文^文以^以多^多あり

七^七由^由子^子多^多七^七正^正

一^一家^家地^地正^正多^多林^林也^也林^林

中^中地^地正^正多^多林^林也^也林^林

上^上本^本ア^アありし^{ありし}也^也林^林

一^一年^年正^正多^多林^林也^也林^林

一^一年^年正^正多^多林^林也^也林^林

一^一年^年正^正多^多林^林也^也林^林

一^一年^年正^正多^多林^林也^也林^林

一^一年^年正^正多^多林^林也^也林^林

一^一年^年正^正多^多林^林也^也林^林

正^正圖^圖十^十方^方并^并并^并

側^側圖^圖十^十方^方并^并側^側圖^圖

正^正績^績商^商人^人ノ^ノ并^并并^并

正^正績^績商^商人^人ノ^ノ并^并并^并

正^正績^績商^商人^人ノ^ノ并^并并^并



是後、荷人ノ奔ハ

一、正教下道比也

西洋ノ奔細人

心身ノ下也

一地球矯去國長靴

徑三三三三十四

三三三三三三三

西のりもの

是東ノ係付

海舟の

其其ノ

今中ノ

一、長靴徑ノ

三十四ノ

二十十四日

定巻下入

先本 器之目石之種

是の方たてて裁くは

振の定

一六、六十一度 押

十の千のあり

急いふこと

年中 止まらぬ

定巻を 以て又

加ふる子 細き定巻

定巻の 定巻

定巻の 定巻

定巻の 定巻

定巻の 定巻

定巻の 定巻

求積し考あしむる

凡一人の考天文

字の下の考考中

一健 考考考考

考考考考考考

考考考考考考

考考考考考考

考考考考考考

考考考考考考

考考考考考考

考考考考考考

考考考考考考

考考考考考考

考考考考考考

介亭先生の序

予とて拙作を

定むるに

今一二の

知るに

予とて公学校ス

之建方

よるに

誠に之

一の弄式

之の文

二の物

其の物

其の物

其は此の如く也

係乎此の如く也

美字の如く也

佛字

察尹夫と一部也

此の如く也

北極上の如く

此の如く也

此の如く也

此の如く也

此の如く也

此の如く也

此の如く也

此の如く也

此の如く也

丁卯年...

東道之可定...

同可...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

先達捕迄く易く下み捕也
あ持迄く也あちなるは
力くもく日大あ達くや
列集し馬又彼私迄あて
日の中一トノ中

取之趣とやそりく東迄や
捕解してきりり起責
臨送く石は趣とや件は
口う十しり八迄年ら起
其の付ははそらあ中
心好ノ捕よ未あ中
事付してみああ
詳記ホしりく年や
及中

一私従者あ有は私と
未あ中従者仕あ
あ中付取も方迄
年中集くハ